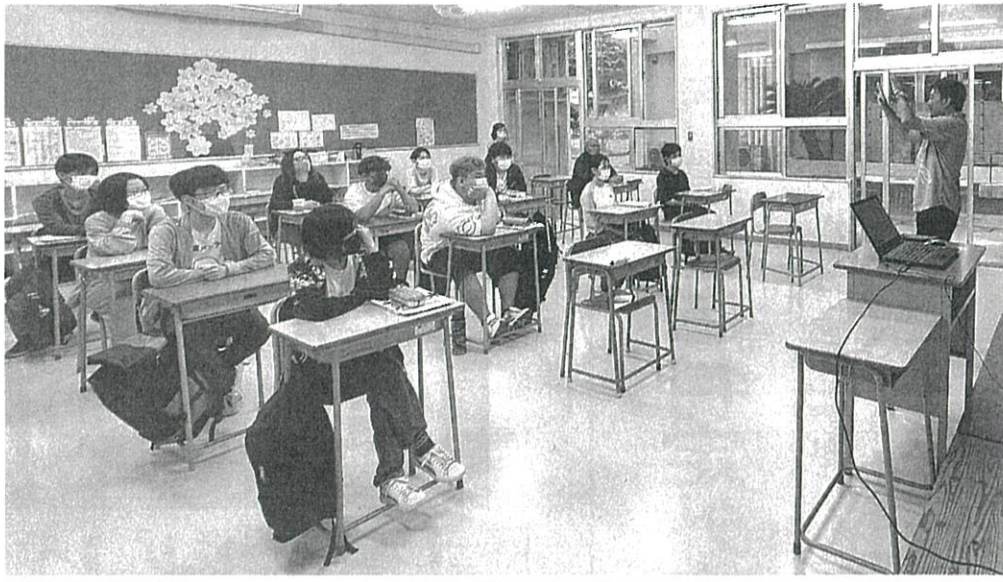


八商工定時1年の生徒ら=17日、八商工
功刀弘之教頭の講和を聞く



教頭が平和学習講話 八重商工定時制で社会授業

県立八重山商工高校(仲山久美子校長)定時は17日、1年生の社会科の授業で、功刀弘之教頭(56)による平和学習の講話が行われた。

沖縄戦を通じての戦争の悲惨さや、沖縄からアメリカに移住した日系人の苦悩について学んだ。功刀教頭は「人間が人間で亡くなってしまつのが戦争」と言い、違いを認めることや他人を思いやる気持ちを持つこと、今の若い世代が社会に出た時に生きるという。

功刀教頭は「沖縄戦のことを詳しくなつてほしい訳ではなく、戦争を起こさないために、皆に何

ができるのかを考えてほしい」と語った。同校定時の1年生は、定時の全校生徒に対して、平和学習朗読会を6月21日に行つた。同月15日には伊原間中でも担当生徒が朗読会を行つた。

朗読を担当する伊原間中出身の前原一心君(15)は「功刀教頭の言っていた、違いを認めることと他人を思いやることの大切さを伝えることができれば」と意気込みを述べた。

RS, 5, 21 (A)